

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習過程〈小・学級活動〉

特別研修員 特別活動 倉林 寛幸（小学校教諭）

議題『1年生との遊びを充実させよう』（第6学年）

学級活動 内容（1）学級や学校における生活づくりへの参画

本時のねらい

様々な観点から遊びを比較する話し合い活動を通して、深まりのある折り合いの付け方を学び、1年生との休み時間の遊びを決めることができるようにする。

授業構想

本学級では、有志が企画した内容で1年生との遊びを休み時間に定期的に行っています。今回、「よりよい遊びを考えるためにみんなで話し合いたい。」という意見がありました。そこで、計画委員と教師が相談し、1年生がより楽しめる遊びを考えることにしました。本時では、1年生との遊びを考えることで、学級の枠を超えた活動を通して、学校生活の向上を図ることにつながると考えました。

過程	主な学習活動	
事前の活動	<p>1. 問題を発見・確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○議題箱を設置し、議題を募る。 ○集まった議題の中から計画委員が現状を把握し、問題を発見する。 ○発見した問題を、計画委員が写真や動画で撮影する。 ○計画委員と教師が相談し、議題を選定する。 ○計画委員を中心に、全員で話し合うべき内容を決定する。 <p>【議題】 1年生との遊びを考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○計画委員が中心になり、「活動計画書」を作成する。 ○帰りの会で計画委員が、話し合う内容を伝える。 	<p>実際に現状を見て、問題を捉えさせる</p> <p>問題の解決に向けて、現状を実際に見ることで切実感を感じさせ、解決する意欲を高める。また、撮影した写真や動画を視聴させることで、計画委員が問題を捉えやすくさせる。また、計画委員以外にも現状が詳しく捉えられるように利用させる。</p>
本時の活動	<p>2. 1年生との遊びを決める</p> <ul style="list-style-type: none"> ○計画委員が提案理由を説明し、全員が議題について理解する。 ○計画委員が1年生の休み時間の様子を発表し、現状をつかむ。 <p>【めあて】 1年生みんなが楽しめる遊びを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○やりたい遊びを出す。 ○遊びを考える観点を考える。 <p>遊びを考える観点</p> <p>みんなが楽しめる</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年生に人気の遊び ルールが分かりやすい たくさん運動できる <ul style="list-style-type: none"> ○出された遊びが、遊びを考える観点を満たしているか話し合う。 ○表を使い、遊びを比べて、意見の合意形成をする。 <p>ケイドロは、このまま決定だ。ドッチボールは、転がしドッチボールにすれば、1年生でもできるなあ。</p>	<p>めあてを具体化するために観点を考えさせる</p> <p>めあてを達成するために必要なことを、遊びを考える観点とする。出された遊びを観点と照らし合わせ、観点を満たしているか考えさせることで、めあてに合った遊びが選ばれるようにする。</p> <p>表を活用して、遊びをしぼらせる</p> <p>遊びを考える観点を満たしているか、表にまとめさせる。表にまとめることで視覚的に分かりやすくする。また、観点を満たさない遊びでも、工夫することで観点を満たせないか考えさせる。</p>
事後の活動	<p>3. 決めたことを実践し、振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1年生と計画した遊びを、実施する。 ○振り返り用紙に、感想を書く。 <p>1年生が楽しいと言ってくれてよかった。これでもっと学校が楽しいと思ってくれるだろう。 6年生として下級生の面倒を見るという役割が果たせてよかった。自分自身も成長できたと思う。</p>	<p>主体的な実践を促す</p> <p>遊びの日時や場所などは、計画委員が中心となり、他の児童や1年担任と相談して決めさせることにより、自ら行っている意識を高める。</p> <p>次回につながる振り返りをさせる</p> <p>実践を行った後、振り返りを行う。1年生や1年担任の感想を伝えることにより、めあてが達成したことに気付かせ、次への意欲を高める。</p>

指導のポイント

指導例：『1年生との遊びを充実させよう』（第6学年）

1 つかむ（議題の話合いの進め方を理解する）

○議題・提案理由を確認する。

K：今回の議題は、議題箱から選びました。提案者は、説明をお願いします。

S：提案理由は、1年生が休み時間を楽しく過ごせれば、学校が楽しくなると思うからです。また、学校を楽しくすることは6年生の役割でもあると思うからです。

K：計画委員が休み時間の様子をビデオ撮影しました。見てください。

K：写真も撮りました。このように一人ずつまらなそうにしている子や地面に寝転んでいる子もいました。



めあて 1年生みんなが楽しめる遊びを考えよう。

2 出し合う

○ふさわしい遊びを発表する。

K：意見がある人は発表してください。

S：「おにごっこ」がよいと思います。理由は、1年生でも分かりやすいし、体を動かすのが好きだと思うからです。

S：「ケイドロ」がいいです。理由は、捕まってもまた助けられるので、遊びが続けられるからです。

S：「だるまさんがころんだ」がいいと思います。理由は、みんなやったことがあるからです。



3 比べ合う

○遊びを考える観点を出し、比べ合う。

K：出た意見を比べます。どんな観点で比べたらよいか意見がある人は発表してください。

S：「1年生に人気な遊び」を選んだ方がいいです。

S：「ルールが分かりやすい」ものである必要があると思います。

S：「たくさん運動できる」ものがよいと思います。

K：では、「おにごっこ」「ケイドロ」「だるまさんがころんだ」「ドッチボール」を三つの観点で比べたいと思います。意見がある人はいますか。

S：「おにごっこ」は、みんなが楽しく、たくさん運動できて、人気な遊びです。

S：「おにごっこ」は、捕まってしまうと終わりなので、たくさん運動できるとは限らないと思います。

S：「ドッチボール」は、1年生では難しいと思います。

S：「転がしドッチボール」に変更すればいいと思います。



ドッチボール(転がし)	だるまさんがころんだ	ケイドロ	おにごっこ		
△	△	○	○	楽しい	みんな
○	△	○	○	わかりやすい	ルールが
○	×	○	△	運動できる	たくさん

4 まとめる（決める）

○より観点を満たす遊びに決定する。

S：表を見ると「ケイドロ」は、三つの観点をすべて満たしているので「ケイドロ」がいいと思います。

K：他の遊びは、満たしていない観点があるので、ケイドロに決定したいと思います。

【振り返り】

S：この遊びなら、1年生はきっと喜んでくれると思います。遊ぶ日が楽しみです。

T：手順に従って、話合いができました。より深まりのある話合いをするには、質問をしたり、他の人の意見を具体化したりすることも必要です。

必要感・切実感のある問題を発見・確認させる

○最高学年としての責任感が高まるよう、他学年のことであっても、最上級生として関わるべき課題であることを示させる。

問題を全体で把握するための工夫をする

○発見した問題を分かりやすくみんなに伝えるため、写真や動画を利用させる。

多様な意見を引き出すための工夫をする

○全体に意見が伝わりやすい環境を作れるよう、座席をコの字にする。
○考えを広げられるよう、意見が乏しいときには、席を離れての小グループの話合いをさせる。

出された意見を視覚的にまとめさせる

○折り合いを付けやすくするよう、遊びを考える観点を発表させ、比べ方を明確にさせる。
○意見を比較しやすくできるよう、表にまとめさせ、遊びを考える観点を満たしているか、視覚的に捉えられるようにする。

振り返りを行わせ、さらなる改善を促す

○さらに深まりのある話合いができるよう、児童に話合いの振り返りをさせ、教師が助言する。
○事後の活動の意欲を高められるよう、教師の話で期待感を示す。

学級活動学習指導案

令和元年6月 第6学年 指導者 倉林 寛幸

I 議題名 「1年生との遊びを充実させよう」

II 学習指導要領上の位置付け

(1) 学級や学校における生活づくりへの参画

ウ 学校における多様な集団の生活の向上

児童会など学級の枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、学級としての提案や取組を話し合っ

て決めること。

III 目標

1年生との遊びを考える活動を通して次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 楽しい休み時間を過ごすため、多様な意見を生かして、合意形成する手順を理解し、他者と協働して取り組むことができる。 (知識及び技能)

イ 他学年の児童とよりよく関わるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合っ

て実践することができる。 (思考力、判断力、表現力等)

ウ 楽しく豊かな学校生活を送るために、自ら調査した結果を生かして、役割や責任を果たすことにより、集団活動の向上に取り組もうとすることができる。

(学びに向かう力、人間性等)

IV 指導計画 ※別紙参照

V 本時の展開

- 1 ねらい 様々な観点から遊びを比較する話し合い活動を通して、深まりのある折り合いの付け方を学び、1年生との休み時間の遊びを決めることができるようにする。

学習活動(分)	○:留意点	点線囲:評価	☆:振り返りの子供の意識
1	つかむ(議題や話し合いの進め方を理解する)(7分)		
	<p>○計画委員が本時の議題・めあて・提案の理由を伝え、学級全体で課題をつかませる。</p> <p>○現状の休み時間の様子が分かるよう、動画や写真を利用して計画委員に発表させる。</p> <p>○話し合いのゴールが明確になるよう、話し合う内容を遊びの種類に限定させる。</p> <p>○危険な遊びにならないよう、決まっていることを確認させる。</p>		
	<p>めあて 1年生みんなが楽しめる遊びを考えよう。</p>		
2	出し合う(8分)		
	<p>○1年生が楽しめそうな遊びを考え、ふさわしいと思う遊びとその理由を発表させる。</p> <p>○意見が少ないときは、考える時間をとり、席を離れて友達と話し合うよう指示する。また、話し合い中に内容を巡回して聞き、動画や写真の様子を参考に考えられるよう、適宜助言する。</p>		
3	比べ合う(20分)		
	<p>○意見を整理させるために、1年生みんなが楽しめるようにするには、どのようなことを大切にすればよいかと投げ掛け、出された意見を「遊びを考える観点」とする。</p> <p>○遊びを考える観点が多すぎる場合は、順位付けを行い3~4個に選ばせる。</p> <p>○表を用意して、遊びを考える観点到って評価し、視覚的にまとめさせる。</p>		
4	まとめる(決める)(10分)		
	<p>○めあてに合った遊びが選ばれるよう、遊びを考える観点をまとめた表を利用するよう促す。</p> <p>○遊びの時間が十分に活用できるよう、遊びに使える時間を考慮して遊びの個数を決めるよう助言する。</p>		
	<p>1年生みんなが楽しめるよう、様々な意見のよさを生かして、遊びを決めている。</p> <p>(思考・判断・実践)【観察・発言】</p>		
	<p>○今日の話合いの振り返りをさせ、より適切な遊びが選ばれるような話し合いをするための改善点を助言する。</p> <p>☆この遊びをすれば、1年生と楽しい休み時間が過ごせると思います。6年生としての役割が果たせると思います。</p>		

指導計画 学級活動 第6学年 議題名「1年生との遊びを充実させよう」

目標	<p>1年生との遊びを考える活動を通して次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 楽しい休み時間を過ごすため、多様な意見を生かして、合意形成する手順を理解し、他者と協働して取り組むことができる。 (知識及び技能)</p> <p>イ 他学年の児童とよりよく関わるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合って実践することができる。 (思考力、判断力、表現力等)</p> <p>ウ 楽しく豊かな学校生活を送るために、自ら調査した結果を生かして、役割や責任を果たすことにより、集団活動の向上に取り組もうとすることができる。 (学びに向かう力、人間性等)</p>		
過程	<p>基本的な学習活動 ◇学級全体 ◆計画委員</p>	<p>主体的・対話的で深い学びの実現に向けた 授業等のポイント</p>	<p>◎目指す児童の姿 (観点)【評価方法】</p>
事前の活動	<p>1 問題を発見・確認する。 ◆問題を発見する。 異学年との関わりに関する議題を募集する。 ◆議題を選定する。 複数の議題案から候補をしばる。 ◇議題を決定する。 計画委員を中心に、全員で話し合うべき内容を決定する。 ◆活動計画を作成する。 計画委員が中心になり、「活動計画書」を作成する。 ◇問題意識を高める。 帰りの会で計画委員が、提案理由を伝える。</p>	<p>○他学年の児童に積極的に関わろうとする意識が高まるよう、全体に問題点を投げ掛ける。 ○より必要感のある議題を選ぶことができるよう、計画委員に現状を把握させる。 ○本時の活動の冒頭で、他の児童にも様子を見せられるよう、計画委員に写真や動画を撮らせる。 ○全員で話し合う意欲が高まるよう、計画委員から現状を話させ、遊びを考えておくように呼び掛けさせる。 ○計画委員に見通しをもてるよう、学級会の進行計画や板書計画を作成させる。また合意形成する際に、どのような方法で意見をしばるのか事前に考えさせる。 ○6年生が成長できる活動であるという意識をもてるよう、提案理由の中で、6年生の最高学年としての役割を示させる。</p>	<p>◎楽しい休み時間を過ごすため、合意形成や話し合いの方法を理解し、協働して取り組もうとしている。 (知識・理解)【観察】</p>
本時の活動	<p>2 解決方法等を話し合う。 ◇議題や話し合いの進め方を理解する。 現状の休み時間の様子を見て、問題を確認する。 ◇解決方法等を話し合う やりたい遊びを出し、遊びを考える観点に合っているかまとめる。 3 解決方法を決定する。 ◇集団として合意形成する。 ふさわしい遊びにしばる。</p>	<p>○休み時間の課題や1年生の興味・関心を確認できるよう、計画委員に撮影した写真や動画を提示させる。 ○危険な遊びにならないよう、話し合いを始める前に計画委員に具体的な例を示させる。 ○1年生が楽しめそうな遊びになっているか考えさせ、ふさわしいと思われる遊びを発表するよう助言する。 ○たくさんの意見が出るよう、必要に応じて席を離れての相談の時間をもたせる。 ○遊びを考える観点を満たしているか確認できるよう、表を利用させる。観点を満たしていない遊びでも、内容の工夫で満たせないか考えさせる。 ○めあてと遊びを考える観点が結びつくよう、みんなが楽しめるか確認するよう助言する。</p>	<p>◎1年生みんなが楽しめるよう、様々な意見のよさを生かして、遊びを決めている。 (思考・判断・実践) 【観察・発言】</p>
事後の活動	<p>4 決めたことを実践する。 ◇合意形成したことを実践する。 1年生と計画した遊びを、実施する。 5 振り返る。 ◇一連の実践の成果や課題を振り返る。 振り返り用紙に、感想を書く。</p>	<p>○活動意欲を高めるよう、決定事項を教室の後ろの黒板に掲示する。 ○遊びの日は、計画委員に1年生担任と調整させる。 ○教師が遊びに立ち会い、次の1年生との遊びをよりよいものにできるよう、遊びの様子を記録する。 ○今後の活動への意欲が高められるよう、遊びの様子や1年生の感想を伝える。 ○継続して1年生と遊べるよう、活動の成果や課題を書かせる。</p>	<p>◎話し合った結果を生かして、役割や責任を果たすことにより、集団活動の向上に取り組もうとしている。 (関心・意欲・態度) 【観察・ワークシート】</p>